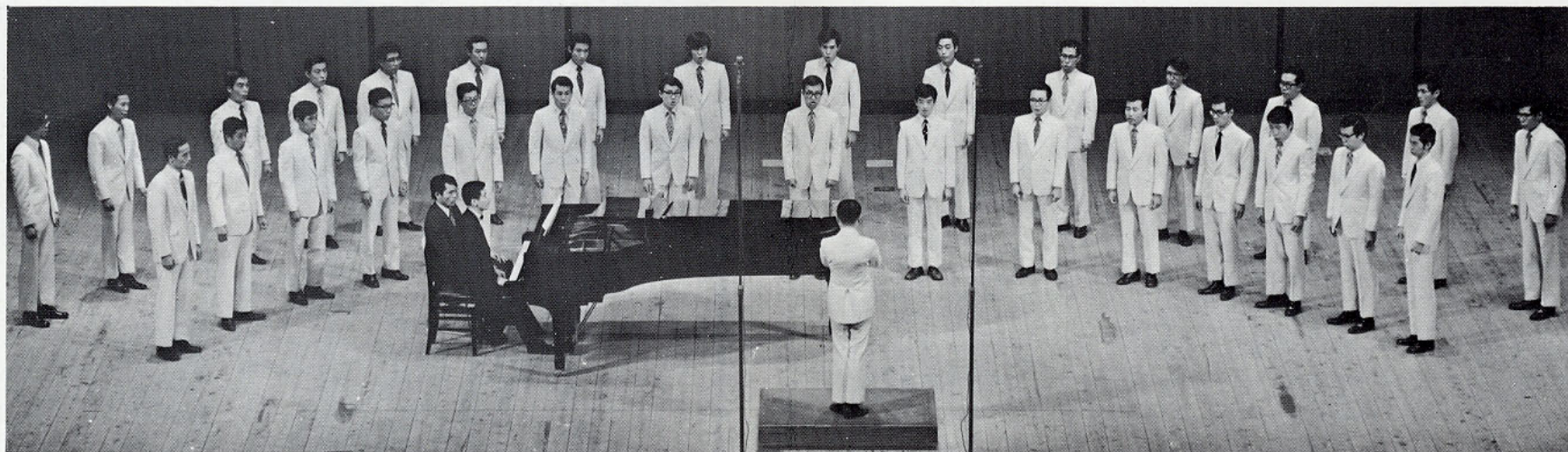


**OSAKA MEN'S CHORUS**  
**RECITAL**

**SUN. DEC. 12 1971 6:30**  
**OSAKA KOSEINENKIN KAIKAN**



**海の男たちの歌** (ロバート・ショウ・シー・シャンティ・シリーズより)

指揮＝林 節

OMC創立以来歌い続けている海の歌(シー・シャンティ)。今では、30曲近く歌ったことになりましたが、今夜はその内からの5曲です。

**THE SHAVER** —— SHAVE—髭そり。ここでは、まだ髭もはえていない少年水夫のことをユーモラスに歌います。

**SHENANDOAH** —— 今夜の5曲の中では、一番よく知られているはずの名曲。インディアン<sup>イン</sup>の娘の名前です。

**BLOW THE MAN DOWN** —— アメリカのポピュラー・ソングにもなっています。リーダーの音頭に皆の衆が唱和します。

**GOOD-BYE, FARE YE WELL** —— 船出の際に、土地のなじみの娘に別れを告げる、悲しく、美しい節が流れます。

**WHAT SHALL WE DO WITH A DRUNKEN SAILOR** —— 早口でコミカルに楽天的な水夫気質まる出しです。

**男声合唱のための組曲「敘情小曲集」**

(室生犀星 作詞 矢田部宏 作曲)

指揮＝筒井 彰

昨年に続いて矢田部宏先生の新曲です。全曲演奏されるのは、これが初めてです。

ふるさと	秋の終り
寂しき春	寂しき椅子
蟬 頃	小景異情
月 草	

**男声合唱のためのレクイエム「碑」**

(薄田純一郎 作詞 森脇憲三 作曲)

指揮＝林 節

OMC39人の平均年齢は、26才。つまり、昭和20年が平均生年です。あの年、広島では、人類のあらゆる不幸の中でも、最も悲惨な事件が起ったのです。ニクソン米大統領は、あと25日で佐藤栄作に会い、やがて毛沢東にも会う時代です。どうか、どうか今後この様な歌が生まれないように祈りつつ歌います。大阪ではこれが初演になるそうですが、原爆に対する怒りの余り、作曲家森脇先生にも意図をお知らせした上で、第9曲目を省きました。

- 1.序 章—2.点 呼—3.爆 発—4.川の中で—5.時間割  
6.まさちゃんお母さんよ—7.船の中で—8.全 滅—9.終 章

**黒人霊歌**

指揮＝林 節

男声合唱のスタンダード・ナンバーである黒人霊歌ですが、OMCとしては、「機<sup>レ</sup>の熟すまで」あたためていたものです。

**DIDN'T MY LORD DELIVER DANIEL** —— 聖書に出てくるダニエル。ソロは聖書教会のメンバーです。

**MARY HAD A BABY** —— 聖母マリアの子、イエス・キリスト。もうすぐクリスマスです。

**THIS OL' HAMMER** —— いたげられた黒人どれいの叫びを心情派の愛すべきソリストで。

**POOR WAYFARING STRANGER** —— 天国へ行った父母をたずねてさまよう悲しい旅人の歌。

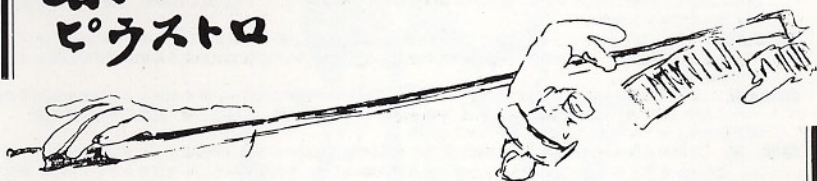
**SET DOWN SERVANT** —— 「静まれ人々よ、」でも私は余りに幸せ。じっとしてはいられない。



## OSAKA MEN'S CHORUS

- 「脚長く、酒好き、女の子にもてる」という資格で集まっているはずのグループ。
  - キャプテン足立は歌えず、指揮者林は顔も音程も悪く、副指揮者筒井は美人の妹だけがとりえ。メンバー一同もおおよそ同類。
  - 練習場には、ウイスキーとグラスが常備。時には飲みながら練習。
  - 歌っている時間よりも、集まって飲んでいる時間の方が、おそらく長い。
  - 毎週月曜日夜9時半以降は、おれわれのために、他の客をシャット・アウトして待ってくれるお酒処あり。(ママは、●美人)
  - 黒服、白シャツ、蝶タイで歌うことは殆んどない。
  - そして、60万円をかけ、スーツ、シャツなどをやっとな新調。
  - レパートリーは、いわゆるオーソドックスとは縁遠い。
  - 以上の諸点から、世間様からのみならず、自ら「裏街道コーラス」と称す。
  - しかしながら、合宿などの宿舎では「稀に見る紳士的グループ、折目正しいあつまり」と見られている。(深夜、多量の酒を持ち込んでいることは、見事にカムフラージュできているらしい。)
  - その合宿では、毎回、メンバーが、順に政治、経済、社会、文化問題について研究発表。質疑応答の時間をもつ。(中国、デノミ、教育、新しい物の見方などがすでに講演された。まだまだ未熟であるが、今後の期待大)
  - 週刊誌が、毎月曜に発行されている。ポルノ・コーナーだけを連載として、内容、体裁は、月号その責任者によって異なる。各自1年に2回発行する勘定だ。これも、社会、文化、数学、囲碁にまで及ぶ。
  - この不良団体も、コンクールでは、やっぱり常時首位をいただいておりますという陰険さ。
  - 去年と、今年、2年連続でそれを頂いてしまった。おかげで、この暮の忙しさ。お座敷も、最もお固いものから最もやわらかいものまで……ああ。
- そして、今夜は3回目のリサイタル。「3回目」の表示はこの文章と、船のマークの旗の部分にしかありません。
- 皆さま本当にありがとうございました。この39人の内の誰かのお知り合いである皆さまのご理解で、低迷の合唱界に不思議とメンバーは増え、雰囲気もよくなって来つつあるOSAKA MEN'S CHORUSです。ご家族や、会社の方々、お友だち、この左まき坊やたちの身勝手を、今後も多少は許してやって下さい。せちがらいこの世の中で、ここだけはとと思って集まっているのです。それは、今夜の歌を一通りおききいただければ「まあ、仕方ない」とぐらいは思っただけだと思います。
- 最後に、本当にありがとうございました。

# 樂絃 ピラストロ



ドイツ グスターフ・ピラッチ社が長年の研究から生み出した世界最高の品質で、世界の検舞台で活躍する一流演奏家の95%は、ピラストロ・アーティストです。

(輸入元)ピラストロ、カール・ヘフナー 日本総代理店

合資  
会社 **丸一商店**

☎ 541 大阪市東区安土町1-20 ダイヤビル ☎ (06) 261-3182-3

## 美人とオーディオ

高価なもの(きれいな人)は、見ているだけでもいいものです。しかし価格が高いからといって、それがすべてではありません。

ほんとの美しさは、その人の内面にある、個性美がにじみでたときです。

オーディオ製品にも、いろいろ個性があります。ステレオ装置一つにしても、すばらしい音楽会など、素直に再生できなければ意味がありません。あなたがオーディオ製品をお求めのときは、ぜひお気軽にお立寄り下さい。

くわしくは、当店の辻中、または、市川がご相談に応じます。クレジットローンもお取り扱いします。

内外、ステレオ、HiFi各種音響製品専門。※試聴室があります。

 **昭和ケース音響**

大阪市浪速区日本橋筋4丁目2-12 TEL. 641-7450 633-8650



**砂場一晃** 高校の電気の教師だが、科学的なこととはおおよそ縁遠く、競馬に精出したり、絵画に興味をもったりしている。酒を飲んでは調子はずれの広島船頭歌を歌うので、同席したメンバーは苦勞をしながらも、バック・コーラスをつきあわせることになっている。話のわかるオヤジもっている。

**鈴木 真** 手つきをみていたら、とてもうまいとは思えぬ麻雀気狂いが、この男に敗けるメンバーもかなりのから、O.M.C.のレベルも大したことはない。欠陥車のウサ高機N360を発売即購入し、深夜メンバーを乗せたまま、高速をばつて、恐怖におのことは。創立1年で借物のボロ・アコーディオンをこわしたので、OMCで新アコ購入、あてがって以来アコ奏者。

**南野三都男** トップのパートリーダー、Set Down Servantのソリスト。若く美男子でこれからの男だが、どういうわけか最近度れが目立ち、ツヤのある声も衰えたとの評がある。高級ピアノの販売が本業で各家庭を日中訪問するのが日常業務。

**藤川文義** 柔道四段で日本航空国際線に勤務するチャールトン・ヘストンばりのいい男だがカンは鈍い方で皆が突い終つたら真ん中出たりする。Poor Wayfaring Strangerのソリストで「舞」に出てくる「広島二中」の卒業生。御堂筋の真ん中でエンストしたりするオンボロ車の持主。

**尾崎 納** 自称元赤軍派かつO.M.C.反主流派でO.M.C.の軌道修正を口にしながら軌道はずしている。必らず一言多く、女の子にも全くもてないで最近クレーブを32年月賦で買ひこみ、大久保酒のソロを見習おうとしている。旭化成の販売で処分品担当。「彼得小曲集」ソリスト。肉体的にも精神的にも未熟。

**早草 寛** 三年に一度しか床屋に行かない男。髪ばかりでなく背も伸びすぎでその頭の上に小さく十二文字。教育大学の学生だが、まだO.M.C.を教育するまでに至っていない。This ol' Hammer!のソリスト

**早田賢二** 高校の数学の先生で、放物線のグラフを書いてあまり何かに似ていると想像して一人ポツと顔を赤らめているマジメ男。O.M.C.の中でこういったタイグイの話では先生でなく生徒である。

**林 節** 足長く、酒好きで女の子にもてると信じていたが、今は足はそう長い方でもなく、酒ぐせ悪く、女の子にも相手にされないで、やむを得ずO.M.C.の連中を相手に深酒をして、しっくからむのが常になったあわれな男。忙しがれるヤツを極度に嫌い「ムダ多く合理的な」人生観を死守する。O.M.C.の指揮者。

**佐野光徳** 大学入試のために勉強中だが怪版代に困ってはO.M.C.のメンバーを訪ねあついている。府立図書館に勉強していくといて家を出るが、休んでいる時間の方が多く、サラリーマンより先に週休2日制を実施している。

**新 栄一郎** Mary had a babyのソリスト。飲むことに関しては他の二つに対するほどの興味を示さない。顔は黒いが腹は黒いかどうかかわらない。元大阪市立大のトップ・パートリーダーで自分では謙虚みには自信もっている。世界マン遊旅行の経験がある。

**山中 明** ふだん、話をするときも金属音で発声する銀行屋。首の前ではあまりしゃべれないが、かなり足が長く、酒好きでO.M.C.タイプと自覚しているようだが、かんじんの女の子にもてないで野球を趣味としてボールを女の子がわりに追いかけている。

**浜野留蔵** いつまでも自分は若く、スマートでカッコイイと信じていたが、いつのまにか服が合わなくなってきたので、最近あわはじめて橋本カントリークラブに入ってトレーニング中。スコアはジャンボ尾崎のワン・ラウンド分をクラブで叩く。元関学オケのホルン奏者でO.M.C.ではハーモニカを担当。美人でボインの妹との二人暮らし。

**山下八郎** 印刷会社の部長でチケット・プログラムなどO.M.C.の印刷物担当。「セッタイ何タ」和断言するくせがあるがメンバーは話半分にもきいてくれない。ゴルフ、麻雀、馬なんでもやるが、歌を含めすべて下手で、そのため誰からも憎まれぬし、女の子にもてない。

**川端 勇** 宴会担当指揮者でチャノンと筆を使って指揮するのが通例である。グンズに勤務するコンピューター屋だが、ファッション産業とはおおよそかけはなれたセンスの持主。弟は弁護士試験をパスした秀才で愚兄賢弟の典型。やむをえずパンパティ・ストッキングを売ったりして女性に近づくと口実を作っている。

**石津佳彰** セカンドのパートリーダー。The Shaverのソリスト。バカでかい声でハーモニカを乱し、人数の少ないパートに放出されることが多い。全員正装でのO.M.C.第1回X'mas partyでアルコール一杯でひっくり返って以来酒席での影はうすい。林節の後輩であるということだけで、結婚の仲人までして貰わなければならないはめになっているが、仲人の都合でもう3回も式場をキャンセルせられいまだ待機中、器用貧乏でなんでもやるが、メンバーは便利屋と思っている。

**渡辺義博** 若いのに「アングル・トリス」に似ているので、銀行を途中退社して、サントリアの試験をうけ、その顔つきのおかげだけで人社に成功した男。アルコールが人より少く赤くなり、純粋にみえてくるので女の子に意外にもてるし、麻雀も弱いので男の子にもよくもてるが不渡りをときどき出して練習を欠陥したりする。

**足立誠也** O.M.C.のキャプテン、平野は親分と呼ぶ。大胆にして細心。オレがいないとO.M.C.はツッパれると豪語するが、歌は全くダメでその面では大荷物。80kgの巨体をもてまし、団創立以来減量に苦心しているそうだが、その効果は全くあらわれない。O.M.C.のおそろいのスーツは彼の勤務する帝人の上野デザイナーの製作によるもの。

**半田 孝** 大学院で地質学を専攻中。O.M.C.が毎夏小島島で安く合宿するときいて入団。その旅箱でバイトしながら、特に為になるとも思えぬ研究を続けている。指揮者にいわせるとメンバーで最も指揮のしがいのある男だということがどういう意味なのかよくわからない。

**我妻 誠** 北海道からわざわざ同志社に入りきた要人。10日前に韓国から帰国したばかりの観光業者でスイスやドイツなどの女情にも詳しい。そのために義理と人情と女の子に弱いと本人は信じている。Shenandoshのソリスト、スリ切れたタイヤの車もっている。

**荒田利男** O.M.C.の夜の講師で「荒田浪法」として有名。凝り症で音に関しては一家言もっている。プロの合唱団からの勧誘もあるほどの実力の持主だが、愛用のバイオリンは本人の意志に反してときどき奇音を発する。O.M.C.の録音係。大阪府警勤務。

**筒井 彰** 指揮者。生命館メンデルコールの黄金時代を創りあげた。今はO.M.C.きつての馬キチガイで将来馬主となって馬を持つ夢もっている。美人の妹を二人もつ。32才でまだ独身、当分続く。バートンパートリーダーも兼務。

**池田泰延** Did't my Lord deliver Danielのソリスト。高校時代までキチガイ。今はマジメなクリスチャン。お寺で合宿中、食事前に神に感謝の祈りをしてくれる。砂場とともにも林節の先輩で不良指揮者林の悪業を知っており、無言の圧力を加える。アコースト。

**柏原正邦** O.M.C.マネージャーで財政担当、本業は酒造りの技師だが広大グループを中国一の合唱団にさせたマネージャー。色青黒く、美的感覚は全く自宅の冷蔵庫にあった一週間前のニグリメシを客に平気で出す男。

**岩間克昭** ムックリ型の典型。信じ難い程高度な密度の脳ミスをもち。松下電子工業のフツウの研究所に勤める大学院生。土過程終了の凡才、ニキビの中に顔がある男。

**荒木 謙** ハコリスコ。O.M.C.でサウ・プロにいったとき、そこからワザワザ母親に居場所を電話して、安心させる孝行ムスコ。洋書の丸巻に勤務するが、外国語は日本語しかしゃべれない。

**梅田 徹** 理学部でアイソトープの研究をする学生。放射線どうせ人体の中まで見られているという意識があるので人前で平気でズボンをはきかえたりする。おとなしいがガンコで、さぞうるさいジジイになることだろう。

**米田克弘** 大阪にしに住んだことがないけれど、中山寺の合宿所に行くのに梅田から神戸線、今津線経由で行く男。まわりのものが一生懸命推せんした名ギキリストで楽器は20万円のカー・ヘフナー……下手。歌も下手。

**森 勝史** ガッコのセンチ。メンバーに対する敬称は「先生」一本槍。「ワカリマシタ、ワカリマシタ」が口ぐせだが一向にワカテない。これがコーナンダイグク？ 近々、O.M.C.2人目の妻帯者に……？

**西 千加史** 大学院で勉強のかたわら、高校で生物の教師をしている。なんやかやと長いこと解剖をしすぎたので「ホトケ様」のアダナもつ。

**武内博貴** 関大コンピュータカの前指揮者。O.M.C.では酔ったときだけ、多田武彦の「雨」だけ指揮をするが、それでずら一曲満足に振らせてもらったことがない。卒業してNCR社と同時に2曲を追い出されるバートンに編入された。タドンのように黒い。

**宇野健一** 三洋電機の中央研究所につとめる技術員。O.M.C.全員で結婚式を準備、実施したO.M.C.では珍しい妻帯者。そろそろ2年になるというのに、すぐ家に帰りがり、皆にヒヤカされるのでムリをして毎回練習後の二次会までつきあっている。

**岩井 爽** ベースのパートリーダー。Blow the man downのソリスト。資生堂のフツウの研究所勤務。全くカナヅチなので、夏の合宿には参加せず、美人が多数同行するときあわてて化粧品を差し入れたが、まだ効果はあらわれない。

**平野綱則** O.M.C.の用心棒。元警察官で日本刀蒐集を趣味としている。会合の後かたづけを先頭に立ってやる感心な男。気が弱く会計で金を強引に集めることもできないが、半面キャプテンから2年がかりでアロハシャツをせしめた強引な男。ビールしか飲まない。

**井上 仁** 酒を飲んだり、ホルモンを食ったりするとき最小の費用で最大の効果をあげて帰る男。金の少しある時は無理して自分の分だけ払う。

**吉田真一** ソリスト不足のため、止むをえず、我がテマソングのソロをする男。学生だが、学校よりO.M.C.への出席率の方が良く、夏になると、ブルの番人をして、麻雀の借りと授業料をまとめて支払っている。

**松田治男** 獣医のタマゴで、現在O.M.C.で対外的に一番でもする男。もつとも若いときに女の子にふられた恐怖心からか、自分からはめったにしゃべらずとはしない。そのために人間相手の医者はあきらめたことウサもある。

**石崎 彰** 教育者になるために、大学で5年も勉強しているマジメ男で入団試験の講義みで最初と最後の音だけビタリとあわせたくべき才能の持主。

**伊藤憲一** O.M.C.の最新人。朝日夕刊のパートリーダー募集でキャプテン宅に電話をかけて、キャプテンを「クン」づけて呼んだ猛者。信州の山猿変して現在は黒田知事の最下位の子分。信州大グリー出身と思えないほど歌は上手くない。やさしい顔からメガネをとると、前髪を怪しむほどのスゴミのある顔があらわれる。

#### 〈ピアニスト〉

**砂場由行** ピアニスト、砂場一晃の弟というだけで、結婚式の前日まで練習にかり出され、新婚アツアツなのに、今日日曜の夜の大事なときにリサイクルにも付きあわされている、不運な男。





たのしさひろがる お買物



阪急

大阪・うめだ  
電話(361)1381